

# へい わ てん 平和展 2018

にゅうじょう むりょう  
入場無料

げん ぼく へい わ まな  
『原爆・平和について学ぶ』

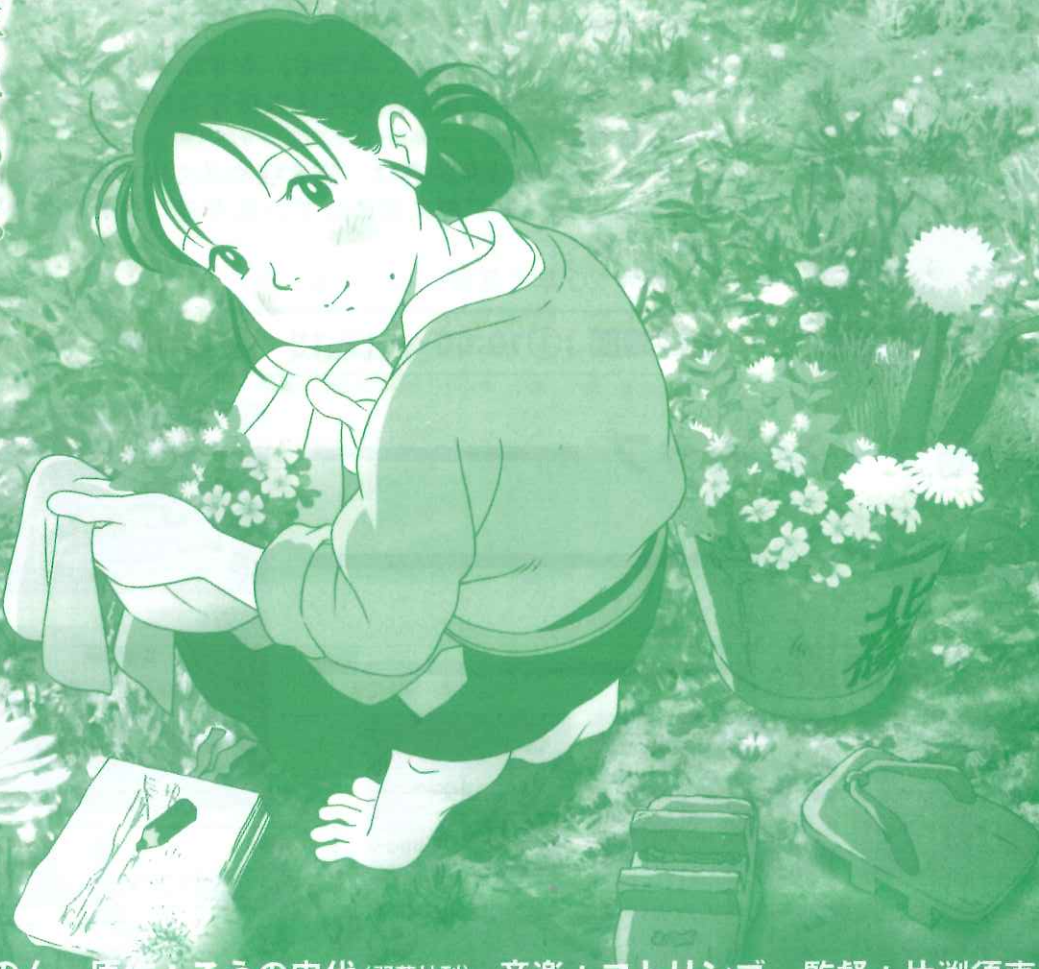
主催 岐阜市職員労働組合連合会  
後援 岐阜市・岐阜市教育委員会

共催 自治労岐阜県本部岐阜ブロック協議会  
協力 岐阜県原爆被爆者の会（岐朋会）

ここの  
世界の  
隅にの

昭和20年、広島・呉。

わたしはここで生きている。



せんそう  
戦争のない  
しゃかい  
社会を目指して

わたし  
私たちにできることは何でしょうか

主演：のん 原作：この史代（双葉社刊） 音楽：コトリンゴ 監督：片渕須直

日本中の想いが結集！100年先も伝えたい、珠玉のアニメーション

konosekai.jp

双葉社

日時

2018年7月27日(金)～28日(土)

両日とも  
9:00～17:00

場所

みんなの森 ぎふメディアコスモス 1階ドキドキテラス

テーマ

げん ばく      へい わ      まな  
「原爆・平和について学ぶ」

目的

戦争によって一発の原子爆弾が無差別に多くの命を奪い、生き残った人々の人生も大きく変えることになったことを、市民のみなさん（特に子供たち）に知っていただきたく思います。

今年で36回を数える平和展を通して、戦争のない社会を目指し「私たちにできることは何か」を考える機会にさせていただければ幸いです。

内容

### ◆パネル展示

市民が描いた原爆の絵の展示

原爆による悲惨な状況を被爆者自ら描いた絵  
(1974～1975年に募集したもの)



### ◆映画上映



1944(昭和19)年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へとお嫁に行くことになる。

配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には大好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

1945(昭和20)年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。

そして、昭和20年の夏がやってくる――。

上映時間：①10:00～12:10 ②14:00～16:10

### ◆折り鶴ワークショップ

### ◆読書コーナー

### ◆原爆と人間展



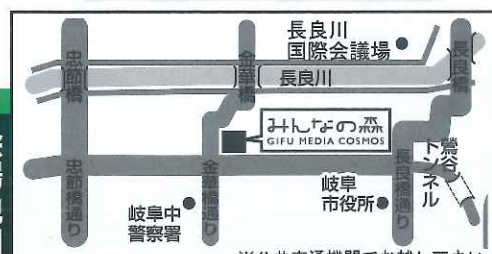
〈お問い合わせ先〉

岐阜市職員労働組合連合会

〒500-8701 岐阜市今沢町18 (岐阜市庁舎1階北口)

TEL: 058-266-5577

会場地図



※公共交通機関でお越し下さい。